

2 小学部の研究のすすめ方

(1) 研究への取り組みについて

昨年度小学部では、生活単元学習において「Pシート」と「流れ図」を全教員が作成し、各教科等を合わせて指導を行うことの効果を確認し、学習評価を基にした授業改善を通して生活単元学習の授業づくりを行った。「Pシート」を活用することで、身に付いたことを積み上げたり、学ぶ内容を広げたりするなど、学びの積み重ねの記録として活用することができた。また、生活単元学習において中心となる教科を整理したところ、全学年で主に生活科の内容が中心となる教科として取り扱われることが明らかになった。一方で、「Pシート」に記載するA（授業改善）の内容や、流れ図の各項目に記載する際の視点については教員間でばらつきがあり、授業改善を進めていく上で表記する際の視点について、再整理が必要であるという点が課題として挙げられた。

昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度はこれまでに作成した「単元計画表」「Pシート」「流れ図」を使用し、学習評価に基づく授業改善に取り組む。各ツールを活用し、授業づくりの思考を可視化して、教員間で情報を共有しながら授業改善に取り組むことを通して、合わせた指導において子どもが主体的に活動できる授業づくりをすすめる。授業の計画にあたり、「単元計画表」を検討する際には、昨年度整理した生活単元学習において中心となる教科を踏まえ、授業内容の検討を行う。そして、単元終了後には各教科等を合わせたことへの効果について、各教科等の目標や内容が達成できたか、子どもが主体的に活動できたかという双方の視点から振り返りを行う。「流れ図」の作成については記入の視点にばらつきがないように、記載内容について事前に共通理解を図る機会を設定する。

年間を通して、三つのツールを使用し各教科等の視点をもった合わせた指導の授業づくりを行うことで、各書式の関連性を明確にし、機能的に活用ができていくかについて意見交換をしながら効果を検証する。次年度以降も継続的に活用できるように「単元計画表」「Pシート」「流れ図」に記す内容の整理や書式の見直しを行い、子どもが主体的に活動できる授業づくりにつなげていきたい。

(2) 今年度の研究のすすめ方

<今年度の研究の方針>

- 1学期には、6～7月の単元において全学年が「単元計画表」「Pシート」を作成して、授業づくりに取り組む。単元終了後に「Pシート」のA（授業改善）の部分を集約し、「流れ図」を用いて次単元の授業計画につなげる。
- 2学期には6～7月単元に実施した単元のPシートA（授業改善）の集約を基に、11月～12月単元の授業づくりを行う。また、各ツールを使用し、書式の改善点について検討する。
- 3学期には、各ツールを活用した効果の検証と書式の見直しを行う。

<授業研究会について>

- 生活単元学習で授業研究会を行う。
- 授業研究会の日程

日時	内容	担当	助言者
11月29日（月）	学部授業研究会	小学部2年生	千葉県立千葉特別支援学校 教頭 渡邊 比呂子